



自ら学び、豊かな心をもって、たくましく生きる児童の育成

2学期がスタートしました。

8月26日から2学期がスタートしました。学校に元気な子ども達の姿がもどってきました。暑い夏休みでしたが、児童のけがや病気、事故等の連絡もなく、元気に過ごして無事に2学期を迎えられることをうれしく思います。

保護者や地域の皆様には、休み中の健康管理や安全への配慮等、大変お世話になりました。2学期の学校生活が、児童一人一人にとって実りあるものになるように、職員全員で取り組んで参ります。よろしくお願いいたします。

PTA奉仕作業ありがとうございました。

25日(日)にPTA奉仕作業を実施しました。今回は、奉仕作業の前にラジオ体操を行いました。山之口まちづくり協議会の協力をいただき、ゆるキャラパフォーマンスロボットによるラジオ体操の披露を行いました。

作業は、校庭の除草、側溝の泥あげ、花壇の草取り、運動会用のテントの準備をお願いしました。たくさんの方が参加していただいたおかげで、予定していた内容が全て終わり、校内がとてもきれいになりました。ご協力ありがとうございました。



運動会結団式

令和6年度の運動会は10月6日(日)に開催されます。運動会の結団式を行い、児童の団の色が決まりました。赤団の団長は、6年 黒木萌華さん、白団の団長は、6年 日高綾音さんです。

これから、本番当日に向けて多くの種目の練習や踊りの練習に取り組んでいきます。本番を楽しみにしておいてください。地域の皆様もよろしくお願いいたします。



ひなたの学び

予測困難な時代を生き抜くために、「生きる力」の育成が言われています。県では、昨年「ひなたの学び」が示され、都城市では、「子どもが主役」になる授業づくりを通して、主体的な学びや対話的な学びができる児童を育てようとしています。



自己肯定感を育てるためには・

- 自己肯定感を育てるには、周囲の人(保護者、教師など)の手助けが必要です。具体的には、
- ① 子どもが自分から話せる環境をつくる。
 - ② 子どもの気持ちを無視しない。
 - ③ たくさんほめる。
 - ④ 厳しい批判をしない。
 - ⑤ ミスをする自由を与える。
 - ⑥ 役に立つ存在であることを互いに理解する。
 - ⑦ 大人がよいお手本を示す。 とのことです。

頭ごなしに否定することや叱りつけることは逆効果になります。そこでは、子どもに自己肯定感を育て、自信や自尊感情をもたせることはできません。結果、受け身、無気力になり自分から決定したり行動したりすることが少なくなり、何事にも消極的で自信をもてない姿としてあらわれます。

まわりの大人も心に余裕をもって、「失敗しても大丈夫。」「ありがとう。助かったよ。〇〇してくれてうれしいよ。」の言葉掛けができるように取り組んでみましょう。最初から何でも完璧ではないので、育てることが大切です。

◇◇行事予定◇◇

- 9月6日 参観日
学校保健委員会
- 26日 運動会予行練習
- 10月 3日 就学時健診
- 4日 運動会準備
- 6日 運動会



【富吉小学校ホームページはこちら】